

## 過去のデータ結果と予想の偏差

### このチャートから何がわかるのか

これは、過去のデータ結果と予想との差のチャートであり、過去の経済データと市場の予想（コンセンサス予想）の差異がどのくらいであったかを示しています。通常、予想を大きく外れた数値は、通貨など、市場により大きな影響を与えます。

### このチャートの解釈の仕方

それぞれのバーは、経済データの予想(コンセンサス予想)と結果(データ結果)の差を提示しています。このバーは、独自のインディケーターであり、経済データに対する、予想値（コンセンサス予想）と実際の結果(データ結果)の基準化された差異を示したものです。

バーが大きい場合は、その経済指標の数値が市場の予想を大きく外れたことを示します。バーが上昇すれば、市場の予想を上回ったことになります。バーが低下した場合は、市場の予想を下回ったことになります。

\* データ結果が高い、低いは、実際のデータ結果が好調であったか、不調であったかを示しているわけではありません。例えば、GDPを見ると、数値が高ければ高いほど、経済が好調であることを示しており、通貨を押し上げることになります。一方、失業率であった場合は、数値が低ければ低いほど、経済が向上していることを示すことになります。

### このチャートの読み方

横軸は、時間を示しています。（過去のデータが発表された日付）

左側の縦軸は、差異を示しています。（コンセンサス予想と結果の差）

左側の縦軸は、経済指標の数値を示しています。

このチャートはコンセンサス予想、データ結果、そしてその差異で構成されています。

チャートにある、インディケーターの名前をクリックすることで、表示したり、非表示にしたり、することができます。

### 差異の計算方法

- この差異を示すチャートは、独自の指標です。このチャートは、実際のデータ結果とコンセンサス予想との差を示したものであり、標準偏差(スタンダード・ディビエーション)とは、過去の5つの経済データの平均差異をとったものです。

## トゥルー・レンジ

### このチャートから何がわかるのか

トゥルー・レンジのチャートは、データ発表後15分後と4時間後の通貨ボラティリティをピップスの差で示します。このチャートによって、今後発表されるデータが、どのように市場を動かすのか予想することができます。

### このチャートの解釈の仕方

一つのバーが経済データ発表15分後の通貨ペアのボラティリティを表示します。もう一つバーは、4時間後の通貨ペアのボラティリティを示したものです。バーが高ければ高い程、通常とは違う動きをしていることになります。

一つのラインは、経済データ発表4時間後のアベレージ・トゥルー・レンジを提示しています。もう一つのラインは、15分間のアベレージ・トゥルー・レンジを提示しています。

### このチャートの読み方

横軸は、時間を示しています。（過去のデータが発表された日付）

左の縦軸は、データ発表後、ペアが上昇もしくは、下落したピップスの値を示しています。

ドロップダウンリストの中から、好きな通貨ペアをお選びください。

チャートにある、インディケーターの名前をクリックすることで、表示したり、非表示にしたり、することができます。

### インディケーターはどう計算されるか？

- トゥルー・レンジは、以下の値の中で最大の値幅を選択します：
  - 現在の高値と現在の安値の差
  - 現在の高値と前時間枠の終値の差
  - 現在の安値と前時間枠の終値の差
- アベレージ・トゥルー・レンジは、過去14期間のトゥルーレンジの値の移動平均です。

## ボラティリティ・レシオ

### このチャートから何がわかるのか

ボラティリティ・レシオのチャートで、その値動きが特定のペアにとって、通常であるか、極端な値動きであるのかを判定できます。

### このチャートの解釈の仕方

一つのバーが経済データ発表15分後のボラティリティ・レシオを表示します。もう一つバーも同様に、ボラティリティ・レシオを表示しますが、4時間後のものです。バーが高ければ高い程、通常とは違う動きをしていることになります。

一つのラインは、経済データ発表4時間後の平均的なボラティリティ・レシオを提示しています。もう一つのラインは、15分間のボラティリティ・レシオ平均を提示しています。

### このチャートの読み方

横軸は、時間を示しています。（過去のデータが発表された日付）

左の縦軸は、ボラティリティ・レシオを示しています。

ドロップダウンリストの中から、好きな通貨ペアをお選びください。

チャートにある、インディケーターの名前をクリックすることで、表示したり、非表示にしたり、することができます。

### インディケーターはどう計算されるか？

- 15 分足 ボラティリティ・レシオ = 15 分足のトゥルーレンジを直近の14期間の指数平滑移動平均線で割ったもの
- 4時間足 ボラティリティ・レシオ = 4時間足のトゥルーレンジを直近の14期間の指数平滑移動平均線で割ったもの

## ディビエーション・インパクト

### このチャートから何がわかるのか

このチャートの点は、トゥルーレンジの差異をピップスで示したものです。このチャートは、通貨ペアが特定のデータ発表の後、そのデータ結果が、どれ程 予想値から離れていたか、またそのデータ発表に対する通貨ペアのボラティリティを示したものです。今後発表されるデータの予想と結果の差異から、ペアがどの程度変動するのか(ピップス)を このチャートによって推測することができます。

### このチャートの解釈の仕方

チャートの点は、それぞれ違った日に発表された、経済データ日を表しています。

点が右側であればある程、その経済イベントでの通貨ペアのボラティリティが高かったことを示しています。

点が横軸から上へと離れ、ポジティブな数値の場合は、データ結果が予想を上回ったことをしめしています。反対に、点が横軸のそばで、ネガティブな数値の場合は、データ結果が予想を下回ったことを示しています。

もし、点が0付近で(ディビエーション軸で)、丁度真ん中に位置している場合、データ結果は予想通りであり、予想と結果がほとんど同じであったことを示しています。

\* ディビエーションが高い、低いは、実際のデータ結果が好調であったか、不調であったかを示しているわけではありません。例えば、GDPを見ると、数値が高ければ高いほど、経済が好調であることを示しており、通貨を押し上げることになります。一方、失業率であった場合は、数値が低ければ低いほど、経済が向上していることを示すことになります。

### このチャートの読み方

横軸は、トゥルーレンジを示しています。(ボラティリティ・インディケーター)

左の縦軸は、ディビエーションを示しています。(この独自のインディケーターは、データ予想と実際の結果の差を示しています。)

一つの色は経済データ発表、15分後のトゥルーレンジを示します。他の色は、4時間後のトゥルーレンジを示します。

ドロップダウンリストから、好きな通貨ペアを選んでいただけます。  
チャートにある、インディケーターの名前をクリックすることで、表示したり、非表示にしたり、することができます。  
マウスをそれぞれの点の上に動かすと、ボラティリティ・レシオや、その日の経済データなどの詳細をご参照いただけます。

#### インディケーターはどう計算されるか？

- この差異を示すチャートは、独自の指標です。このチャートは、実際のデータ結果とコンセンサス予想との差を示したものであり、標準偏差(スタンダード・ディビエーション)とは、過去の5つの経済データの平均差異をとったものです。
- トウルー・レンジは、以下の値の中で最大の値幅を選択します：
  - 現在の高値と現在の安値の差
  - 現在の高値と前時間枠の終値の差
  - 現在の安値と前時間枠の終値の差
- アベレージ・トウルー・レンジは、過去14期間のトウルーレンジの値の移動平均です。
- 15 分足 ボラティリティ・レシオ = 15 分足のトウルーレンジを直近の14期間の指数平滑移動平均線で割ったもの
- 4時間足 ボラティリティ・レシオ = 4時間足のトウルーレンジを直近の14期間の指数平滑移動平均線で割ったもの